



# 無花果

No.178  
 平成30年12月21日発行  
 発行 秋田県立聴覚支援学校  
 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

## 学習発表会 ～秋襲祭～ 大成功！

### ずっとこの先も

教頭 松井智子



十月六日、かがやきの丘に移転してから九回目の学習発表会が開催されました。これまでもずっと続いてきた学習発表会。今年度赴任した私は、子どもたち一人一人の思い、職員の願いが一つになったステージに改めて伝統のパワーを感じました。

直前のステージ袖、「わあ、楽しんだ。」と、笑顔で話した小学部の児童がいました。一流のスポーツ選手や文化人が、日々の練習を十分に積み重ね、本番前に「楽しみたい」と表現することがあります。まさにその境地です。仲間と真剣に取り組む「今」の積み重ねが、当日の「楽しみ」につながったのでしょうか。きっと全校の一人一人が、いろいろな「楽しみ」を抱いて臨んでいたと思います。

「〇〇の方がいいよ」「〇〇はどうか」と意見を出し合い、「よりよく」を目指して力を合わせました。「この絆はずっとこの先も続いていく」。児童生徒会企画の発表の最後に、子どもたちによって掲げられた言葉です。絆は、自分と向き合い、他の人を意識するなかで深まります。喜びを分かち合えたみんなの顔は、とても頼もしく見えました。

学習発表会后、校内を回っていると、小学部に掲示されていた作文に、「お客さんが笑顔ではなく手をしてくれました。うれしかったです。」と感想が書かれています。応援してくれる人がいることで、達成感や満足感がより一層大きくなります。ご家族の皆さんや地域の方々、卒業生の皆さんからかけられたうれしい言葉が、子どもたちの自信や「楽しみ」を育んでいると感じています。そして、また子どもたち自身にも、他の誰かを応援する気持ちをずっともち続けてほしいと願っています。

この先も周りの皆さんに応援される学校、子どもたちの今が未来へ確実につながっていく学校であり続けたいと思います。

# 学部の行事コーナー

## 幼稚園部

### くだものいっぱい♪

高橋 美裕

気持ちの良い秋晴れの中、子どもたちの元気な声が果樹園いっぱいに響き渡りました。果樹園はたわわに実った果物だらけ！「真っ赤なりんご？実の大きなぶどう？それとも大きな梨？」「たかーいね！どうやってもぐ...？」親子で相談する姿は真剣そのもの。秋の果物にたっぷり触れ、また一段と家族の和が深まったことでしょう。小さな手をいっぱい伸ばす姿、もいだ果物を手に持ち嬉しそうにニコニコ微笑む姿：子どもたちの新しい顔をたくさん発見できた遠足でした。



## 小学部

### 秋の校外学習

小玉 幸子

秋晴れに恵まれた十月二十六日、天王グリーンランドへ出かけました。秋田駅西口から路線バスで小一時間。展望台からの眺めや鯉の餌やり、大型自転車など、元気な子どもたちがさらにパワーアップして楽しみました。家族で訪れた経験のある子どもが大半でしたが、「見てー！」と友達を呼んだり、一年生を乗せて四年生が乗り物を操作したりして、友達と過ごす喜びを感じている様子でした。



## 中学部

### 中学部職場体験学習

(十月二十一日・二十三日)

鷲谷 和

今年度も学年ごとにテーマを設定し、各々体験先を決定しました。業種は違いますが、働くことの大変さや人と関わることの楽しさ、難しさを肌で感じてきたようです。「高齢者の話を共感しながら聞くことができた。」(福祉施設)  
「お客さんを前にして緊張した。勘違いしないように聞き直した。」(飲食業)  
「疲れても作業を続けることができた。思ったより大きい声が出なかった。」(洗濯業)  
「笑顔であいさつできた。もっと積極的に話したい。」(小売業)  
「袋詰めはミスなくできた。あいさつは難しかった。」(小売業)  
「厨房は立ち仕事で忙しかった。少し声が小さかった。」(飲食業)  
「周りをよく見て動いた。返事ができるようにした。」(福祉施設)



## 高等部

### 高等部防災教室

幡宮 明

九月四日(火)、高等部「防災教室」が行われました。講師には日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科から及川真一先生が来ていただきました。今回は、炊き出し支援体験などを通して、避難所で自分たちにもできる支援について学びました。また、日赤短大の学生さんと災害時に関連したミニ手話教室で交流することができました。



## 寄宿舎

### ひまわり楽しみ会

五十嵐 千穂

寄宿舎生が企画する行事、ひまわり楽しみ会を十月二十四日に行いました。今年はボウリングと外食に行きました。ボウリング場では、絶えず歓声や拍手、笑い声が響き、夕食も和気あいあいと楽しく食事しました。

大きな月に照らされて歩いて帰る道すがら、高三の生徒が「みんなで行くのも最後だな。」と感慨深そうにつぶやきました。生徒一人一人にとって心に残る会となりました。



## 支援部

### 難聴児童交流会(七月二十八日)

照井 純子

今年度は、本校小学部児童を含む六名の子どもたちとその保護者、担任の先生の参加がありました。子どもたちはクイズ大会の他、休憩時にはじゃんけん遊びで楽しみました。保護者の会では、本校の加賀谷裕子教諭が小・中学校時代の体験談を「家庭の役割、大切さ」「障害理解」の観点から講演を行いました。有意義な情報交換ができました。



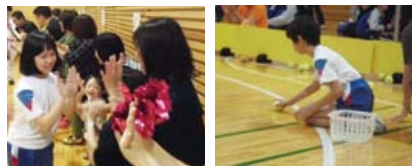
## 特体連総合体育大会

9/21

### 特体連ピン倒し大会で得たもの

鈴木 英揚

特体連ピン倒し部門に、小学部四名のチームで参加しました。一回目の競技は少し時間がかりましたが、「ピンをよいく狙って投げる」「線からはみ出さないようにする」など個々の頑張りが見られました。二回目には、子どもたちの頑張りに加え、保護者の方々や本校職員からの応援が後押しし、36秒80と好タイム。記録もさることながら、みんなが応援してくれたことを実感でき、子どもたちにとって貴重な体験となりました。皆さんの応援、本当にありがとうございました。



## 全校マラソン大会

### マイペースでラン・ラン・ラン

小野 武則

十月十七日(水)、全校マラソン大会が行われました。さわやかな秋晴れの中、幼稚園部から高等部までの二十四名が参加しました。自己記録の更新を目指した人、自分のペースで走り続けた人、それぞれ自分の目標でゴールを目指しました。今年度は校長先生をはじめ数名の職員も参加して健脚を披露しました。最後まであきらめずに走る参加者に周囲からたくさん温かい声援が送られました。



幼稚部

九人の素敵な音楽隊

幼稚部担当 石川 美智子



「ひひーん！ わんわん！  
にゃーにゃー！ こけこっこー！」  
今年の劇は『ブレーメンの音楽隊』。動物たちがおばけに変身して大きな鳴き声で驚かします。「こわい！」「ごめんね」と謝る泥棒たちの掛け合いが見事に表現されました。  
初めはセリフを覚えるのが精一杯だった子どもたちも、練習を重ね、前を見て堂々と話すことができようになりました。また、手を繋いで一緒に歩いたり、友達を見てセリフを合わせたりと仲の良さも見られた九人の音楽隊でした。

中学部

太鼓への挑戦、生徒会展の盛り上がり：  
暑さを熱さに変えた生徒の熱意！

中学部主事 伊藤 健人

本番をのりきった生徒たちの感想です。  
『・太鼓は、荒々しさを表現した。・カラーガードは、今まで一番の本気をだして、疲れても旗を振った。・練習が大変で嫌になったこともあったが、お客さんを感動させる発表ができたと思う。・もぐら台の中は暑くて、サウナのようだった。・心配していた手話は、少し間違っただけだった。・心配していったけれど、最後まで言えた。・練習通りに無心でがんばった。・プレッシャーでバチを落としそうになった。・太鼓の音が合っていて、気持ち良かった。・難しいシーンがなかなか自然に合わせられなくて、本番も不安がいっぱいだった。』  
最後はこの感想で。  
『暑かったけど、いい汗をかくことができた。』



小学部

四人の忍者の物語

小学部担当 鈴木 暢子



アニメ「忍たま乱太郎」の世界のように、元氣な忍者たちが日々「修行」している小学部。そんなわけで、今年の小学部は忍者に変身！「なまけ忍者」が「ちゃんと忍者」になるために、四つの修行に挑戦しました。エネルギー溢れる一年生のエイサーや、表現を工夫して四年生がしつとりと演じた「詩・こだまでしょうか」の朗読などに、たくさん拍手をいただきました。本番までの道のりは山あり谷ありでしたが、一人一人の底力とチームワークで無事「ちゃんと忍者」になることができましたとき。ニンニン！

学習会  
学発表会

高等部

Our School Life  
あの日の僕たち

高等部担当 煙山 明美

今年、青春ものをとという生徒の声から、「かがやきの丘高校手話パフォーマンス部」の大会までの歩みを劇にしました。日々の関わりの中で起こった衝突や挫折を経験しながらも、心一つに乗り越えていく成長の物語です。  
「生徒の振り返りから」『演技の付け加えもでき、よりリアルな学校生活を表現できた』『長い詩を覚えて話すことができた』  
一人一人が行間から気持ちを考えて、表現を工夫して各シーンを作り上げることができました。



児童生徒会

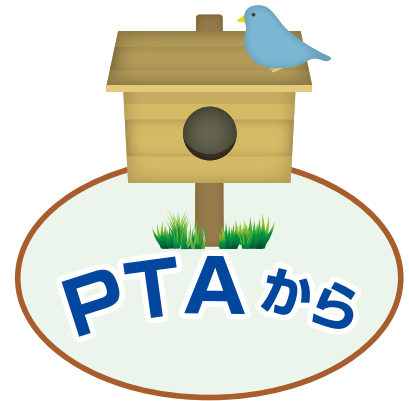
仲間

生徒会長 齋藤 岳哉

今年の児童生徒会企画は、「絆」をテーマに幼稚部から高等部までの幼児児童生徒三十人全員で進めてきました。「絆」から思い浮かべる漢字や手形を大きな虹の絵にはって、全員が制作に関わって作品を完成させました。

学習発表会本番までの三回の練習では全員がそうこうとがありませんでした。また、企画の意図を説明し、実際にやってみるという段階で、自分の考えが伝わらず苦戦しました。でも繰り返し話し合う中で、お互いの考えが合わさり、進めることができました。それぞれ制作を進め、本番の流れを一生懸命に練習することができました。本番は、無事に発表を終えることができました。僕はとても安心しました。  
今回の活動を通して、お互いに見えぬところも見える仲間を学びました。





### PTA研修会に参加して

内山 ゆう子

以前から興味があった、普通救命講習に参加させていただきました。AEDの使い方や救急救命士の方から役立つ豆知識などを教えていただき、とても充実した時間でした。

後日、修了証もいただいています。AEDも数年で進化し、使い方が変わ

るそうです。これからも機会があれば、ぜひ参加し、いざという時に、少しでも役に立てばと思います。



### ランチランド

PTAランチランドチーフ

安田 三紀

十月六日の学習発表会で、ランチランドを開催しました。今年は台風の影響により天候が不安定。当日は予想以上の暑さとなりました。その様な中でも、たくさんの方々にお越しいただき、盛況のうちに、無事終えることが出来ました。

これも、先生方や

保護者の

皆様のご

協力あつ

てのこと

です。事

前の準備

から当日

の運営に

至るまで

ご協力く

ださった

先生方、

保護者の

皆様、本

当にあり

がとうご

ざいまし

た。



## 高等部修学旅行

### 学び多き修学旅行

小棚木 明子

「原爆ドームがあるのは、若くして亡くなった二人の女性の平和を願う気持ちが全国に伝わったからだ」と知りました。」

「伏見稲荷大社には、日本全国の会社や個人が寄贈した鳥居があり、たくさんの方が関わっているのだなと思いました。」

これは修学旅行中に生徒から聞かれた言葉です。

十一月二十七日から三泊四日の日程で、高等部二、三年生四名で広島と京都へ行ってきました。春から事前学習を重ねてきた四名でしたが、実物を見たことが更なる深い学びになったようでした。また、自主的に移動手段を調べたり、お互いを思いやった言動が見られたりと成長が感じられた旅行でもありました。共通の思い出をもつことができた四人の絆がこれからも続くことを願っています。



## ニュース・トピックス

◎東北地区高等学校体育大会(岩手大会)  
陸上競技

中学部男子	砲丸投げ	第八位	島山陽稀
中学部女子	砲丸投げ	第二位	島山陽稀
高等部男子	砲丸投げ	第六位	藤原心華
	砲丸投げ	第四位	小川優士
	砲丸投げ	第五位	齋藤邑哉
	砲丸投げ	第八位	荒川太陽

◎卓球競技

団体戦 優勝

中学部女子

個人戦 優勝

高等部男子

個人戦 準優勝

◎第五十五回全国高等学校陸上競技大会(姫路大会)

五〇〇〇m 第八位 深澤 紘

◎秋田魁新報 平成三十年度さきがけフットサロン

学生・生徒の部

◎第五十一回秋田県高等学校総合美術展

美術工芸部門 絵画部門

◎第十回 秋田工芸展

入選 高等部一年 鈴木里枝

◎秋田県商工会連合会賞 作品名「舞姿」

齋藤邑哉、深澤紘、小川優士、鈴木里枝

## お知らせ

学校報の名称にもなっている「無花果」。学校創立百周年記念で、六年前に植樹した無花果の木に実がなりました。本校においては、ぜひご覧になってください。



## 編集後記

平成最後の冬を迎えました。安全・健康に気を付けてよいお年をお迎えください。